

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	らくりあ		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 4日		～ R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8年 2月 4日		～ R8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個性を大事にした手厚い支援の提供	ひとりひとりの個性を考え、専門職の知識を生かし支援に当たっている。 1人だけの意見で決めるのではなく、職員間で意見を出し合いチームで取り組み支援方法を探っている。 利用児の変化や家庭や関係機関(幼稚園・保育園・他事業所など)からの情報をその日のうちに共有し、支援に反映できるように、朝礼では気付きの報告、支援後は15分間の情報共有の時間を作っている。 必要に応じて個別の関わりを実施している。	共通したアセスメントツールを作成し、経験に関わらず同じ視点を持ち支援できるようにする。 PDCAサイクルの徹底。 関係機関との連携強化。
2	固定されない活動プログラム	個から小集団、大集団に移行できるよう活動プログラムを考えている。 発達段階に合わせて活動に取り組めるように、工作などは段階わけしている。 個別支援計画に合わせた活動を提供しよう意識している。	活動プログラムのリサーチ。 活動の目的や意味の理解の強化。
3	保護者交流の場の確保	児童全体の交流会では就学前の家庭同士の交流が少なかったため、事業所独自で保護者が交流できる機会を作った。保護者が負担感なく、気軽に参加できるように1日のプログラムを考え実施した。	今年度実施した内容を踏まえて、保護者に取ったアンケートをもとに、意見を反映させながら続けていく。来年度は保護者のほか、きょうだいが交流していける機会も作ってきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への説明・発信	契約時に重要事項説明書とともに説明している部分が、正確に伝わっていない。 ポイント抑えた説明の不足。 ホームページやInstagramの配信や更新の周知不足。	ポイント抑えた伝わりやすい説明をする。特に人員配置と安全や災害、虐待に関する項目は詳しく説明していきたい。 ホームページやInstagramの定期的な更新を行い、情報を発信するツールを上手に使って、説明の不足部分を補う。 eメッセージの活用。
2	地域とのつながり	周辺も狭い出入りが簡単ではない場所なので、地域の方を事業所に招くことは難しい。 幼稚園や保育園に通っている方が多い為、事業所利用時に交流する必要性があまり感じられない。	地域の回覧板の活用など、事業所についての情報を掲載して地域の方に知っていただくなど現状に合った方法を考えていく。 公園やにこにこ子ども館などの活動では地域の方と触れ合っているため、状況に合わせて交流の機会を考えたい。
3	環境設定(建物の構造的問題)	築年数が古い一軒家のため、環境設定に限界がある。	現状できる範囲のことを職員間で話し合い、常に利用児が気持ちよく安全に過ごせる環境を作っている。 1人で安心して過ごせる空間の確保を考えていく。